

編集方針・目次・トヨタ自動車の概要	企業理念・サステナビリティの考え方	社会への取り組み	環境への取り組み	ガバナンス	CSRの実績データ集
安全への取り組み	お客様第一・品質第一への取り組み	豊かな社会づくり	社会貢献活動	人権の尊重	ビジネスパートナーとともに
			従業員とともに	安全・健康	人材育成 (教育・キャリア開発)
					ダイバーシティ&インクルージョン
					従業員が笑顔で働ける環境づくり
					ステークホルダー・エンゲージメント

## オリンピック・パラリンピック・スペシャルオリンピックス

スポーツは人々に「勇気」と「感動」をもたらします。なかでも、オリンピック・パラリンピックには、スポーツを中心とした多彩な活動を通じて、人や社会をさらに豊かに変えていく「力」があります。そうしたオリンピック・パラリンピックの目指す姿や理念に強く共感し、トヨタは2015年に、国際オリンピック委員会 (IOC) の「オフィシャル・ワールド・オリンピック・パートナー」、国際パラリンピック委員会 (IPC) の「オフィシャル・ワールドワイド・パラリンピック・パートナー」契約を締結しました。さまざまな活動と持続可能なモビリティの提供を通じ、「より良い世界、平和で平等な社会の実現」に貢献したいと考えています。

また、2016年1月には、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 (SON) と「ナショナルパートナー」契約を締結。2017年11月には、SO国際本部との間で2018年からの「グローバルパートナー」契約を締結し、知的障がいのある方たちのスポーツ参加を支援するSOの活動および国内大会をサポートしています。

### ● オリンピック・パラリンピックの取り組み

#### パートナーとしてトヨタの目指す姿

IOCおよびIPCとの契約期間は、東京2020大会を含む2024年までで、トヨタはモビリティ領域のパートナーとして参画しています。

オリンピック・パラリンピックを通じて、「Ever Better MOBILITY FOR ALL」「Ever Better SOCIETY」「Ever Better TOYOTA」を目指します。誰もが参加・挑戦できる社会の実現に向けて、「モビリティ」「スポーツ」「社会課題」の3つの領域で取り組みます。

モビリティ	社会課題解決	スポーツ
Ever Better MOBILITY FOR ALL すべての人に移動の自由を	Ever Better SOCIETY 持続可能な社会の実現へ	Ever Better TOYOTA もっといいトヨタへ

## 「モビリティ」領域の取り組み

大会に関わるすべての人が笑顔になるようなモビリティを提供します。東京2020大会では、トヨタの最新・最高の技術を実装したモビリティ、未来の社会・交通システムを提案します。また、障がいのある方や海外からの渡航者たちを含むすべての人が安心・安全・快適に移動できることを目指します。

### 「モビリティ」の取り組み

テーマ	主な取り組み
Sustainability	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 究極のゼロエミッション車のオフィシャルカーへの投入により、将来の水素社会を牽引</li> <li>● 交通事故をZeronizeする社会の実現に向けて、最新の安全装備を採用</li> </ul>
MOBILITY FOR ALL	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来技術である完全自動運転へ挑戦し、究極の「MOBILITY FOR ALL」を示す</li> <li>● モビリティサービス専用EVである「e-Palette」により、選手村巡回輸送に貢献</li> <li>● 障がいのある方、高齢者や子ども連れの方などすべての人に、自由で快適な移動をしていただくために、「ウェルキャブ」などのアクセシブルモビリティを提供</li> </ul>
円滑な大会車両運行管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トヨタ生産方式に代表されるトヨタの物流ノウハウおよび、先進ICTを活用することにより、安全・安心、スムーズな大会輸送に貢献</li> </ul>
史上最もイノベティブな大会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「人に役立つ実用的なロボット」と「驚きを与えるロボット」の2方向で人とロボットが共生する将来の姿を示す</li> </ul>



e-Palette Concept



MIRAI

編集方針・目次・トヨタ自動車の概要	企業理念・サステナビリティの考え方	社会への取り組み	環境への取り組み	ガバナンス	CSRの実績データ集
安全への取り組み	お客様第一・品質第一への取り組み	豊かな社会づくり	社会貢献活動	人権の尊重	ビジネスパートナーとともに
			従業員とともに	安全・健康	人材育成 (教育・キャリア開発)
					ダイバーシティ&インクルージョン
					従業員が笑顔で働ける環境づくり
					ステークホルダー・エンゲージメント

## 「スポーツ」領域の取り組み

トヨタは、企業の一体感向上・従業員の意欲喚起・良き企業人の育成を主目的に、1937年の会社創立以来企業スポーツに力を入れており、アスリートを中長期的・多面的に支援しています。健常者スポーツは既存の運動部を中心に支援し、さらに障がい者スポーツについては、パラリンピックのパートナー就任を機に、「ボッチャ」と「車いすバスケットボール」の競技団体に協賛するなど、重点的に支援しています。

韓国・平昌で開催された2018冬季オリンピック・パラリンピック大会では、世界20カ国50人以上の「チームトヨタアスリート」が出場。従業員アスリートに加え、トヨタの理念や「チャレンジ」「改善」「チームワーク」といった価値観に賛同いただき、各国で選出されたアスリートから構成されています。こうした価値観を共有する仲間を応援するなかで、多くの従業員がアスリートの壮行会やパブリック・ビューイングに参加しました。また、従業員としての雇用に加え、モノづくりの強みを生かしたアスリートの用具開発の支援も行っています。平昌2018冬季大会パラアルペンスキー銀メダリスト・森井大輝選手の競技用チェアスキーは、日進医療器株式会社との共同開発により、従来モデル比約15%の軽量化と約3倍の高剛性を実現しました。



銀メダルを獲得した宇野昌磨選手



銀メダルを獲得した森井大輝選手

詳細情報「Annual Report 2018」(P45) [Web https://www.toyota.co.jp/jpn/investors/library/annual/](https://www.toyota.co.jp/jpn/investors/library/annual/)

## 社会課題解決に向けた挑戦

トヨタは創業時から社会貢献を重んじてきました。オリンピック・パラリンピックへの参画を機に、世界中の事業体・各地域本部や工場で、社会課題の解決に取り組んでいます。具体的には、各国オリンピック・パラリンピック委員会や選手と協力し、パラスポーツ参加の機会拡大に向けたイベントの開催、パラリンピックアスリートを通じた障がいのある方への偏見をなくす活動の支援、スポーツを通じた子どもの教育などを始めています。

### 福祉車両を活用した中山間地域の交通網 ～地域が支えるコミュニティバス

トヨタは「すべての人に移動の自由を提供する」という想いのもと、高齢者や身体の不自由な方、その介護をする方をサポートする福祉車両の提供を通じて、こうした交通空白の問題を抱える地域の移動手段に貢献しています。

秋田県横手市では、住民自身が運転するミニバスを走らせる実証実験が2017年11月から2018年3月まで行われました。この実証実験は、自宅から所定の場所まで送迎してくれるコミュニティバスを、地域の60歳以上の有償ボランティアがドライバーとなって、民間バスの走らない曜日に運行するもので、車両にはトヨタが無償提供した福祉車両「ウェルジョイン」が使われました。

利用者からは、「荷物を持って歩く必要がない」、「乗り心地、乗降性がいい」などの声が寄せられ、ボランティアドライバーからも、住民から感謝されてうれしいなどの好意的な反応がありました。実験結果を受け、横手市では、2018年4月から、実証実験に使用した「ウェルジョイン」を用いたミニバスの試験運行を開始し、同年10月に本格運行に移行する予定です。

[▶ 豊かな社会づくり P33](#)



人の背丈よりも高く積もった雪道を歩く地元の人たち



地域の足として活躍する「ウェルジョイン」

編集方針・目次・トヨタ自動車の概要	企業理念・サステナビリティの考え方	社会への取り組み	環境への取り組み	ガバナンス	CSRの実績データ集
安全への取り組み	お客様第一・品質第一への取り組み	豊かな社会づくり	社会貢献活動	人権の尊重	ビジネスパートナーとともに
			従業員とともに	安全・健康	人材育成 (教育・キャリア開発)
					ダイバーシティ&インクルージョン
					従業員が笑顔で働ける環境づくり
					ステークホルダー・エンゲージメント

## ● スペシャルオリンピックスの取り組み

スペシャルオリンピックス(SO)とは、知的障がいのある方たちに、さまざまなスポーツトレーニングの機会と、成果発表の場である大会・競技会を提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。

SOでは、アスリートがトレーニングや競技を通じて身体を鍛え、勇気や喜びを感じ、さらには才能や技能、友情を、他のアスリートや家族、地域の人々と分かち合うことを目指しています。トヨタはこれに賛同し、車両の提供やボランティアの派遣などさまざまな活動で支援し、多様性に富んだ社会の実現に貢献します。

### 「グローバルパートナー」および「ユニファイドスポーツパートナー」契約を締結

2017年11月、トヨタはSO国際本部との間で、2018年からの「グローバルゴールドパートナー」契約を締結。併せて、SOアスリートと健常者が同じチームを組んで参加する「ユニファイドスポーツパートナー」契約も締結しました。「同じチームメイトとして日頃の練習や試合を行うことは、お互いの友情を育み、相互理解を深める一番の近道である」という考え方に共感し、2018年から日本と米国を中心に活動していきます。

今回のグローバルパートナーシップに際し、学生時代からスポーツを続ける豊田社長は「スポーツにはさまざまな個性を持つ人々が参加し、同じ目標に向かって競い合い、リスペクトし合う世界を築く力があると感じています。そしてユニファイドスポーツは、その世界を最も具現化しています。今後はSOに関わる皆様と共に、SOの魅力を少しでも多くの方に伝えることに貢献していきたい」と述べました。



調印式の様子



調印式の様子

### 主なイベントと概要

イベント	実施	概要
SOデー	2017年11月	Bリーグ(男子プロバスケットボールトップリーグ)のアルバルク東京公式戦にて「SOデー」イベントを開催 試合前にユニファイドバスケットボールのデモンストレーションマッチを行うなど「SO活動」「ユニファイドスポーツ」のPRを実施
ユニファイドバスケフェスタ	2018年5月	国立オリンピック青少年センターで開催 12チームが競い、トヨタからは17人のボランティアが参加 今後、全国規模の大会につなげる
SO日本・第3回全国ユニファイドサッカー大会	2018年6月	J-GREEN堺にて開催 2017年12月実施の第2回大会に引き続き、トヨタからは約20人のボランティアが参加 2018年7月のユニファイドカップに出場するチーム福島も出場
SOユニファイドカップシカゴ2018	2018年7月	SO50周年を記念してサッカーの世界大会を、SO発祥の地シカゴで初開催 日本からもチーム福島が名古屋グランパスのサポートを得て参加
SO日本 夏季ナショナルゲーム・愛知	2018年9月	4年に1度開催される全国大会 愛知県内各所で全13競技会を開催 トヨタから過去最多の400人の運営スタッフが参加
SO夏季世界大会	2019年3月	4年に1度、各国で開催される世界大会をUAE アブダビで開催 ナショナルゲーム・愛知で活躍したSOアスリートが参加



SOデー



ユニファイドバスケフェスタ



ユニファイドサッカー大阪大会



ユニファイドサッカーカップ